

# 【龍岡】 木地

## 85 観音堂



水ヶ峠トンネルの手前の木地部落の小高いところに観音堂がある。

木地は現在2世帯で、この観音堂を守っているご夫婦ともう一軒のみとなっている。

観音堂の本尊は、十一面観音菩薩で秘仏となっている。文中年間（1372頃）に覚理法皇・長慶天皇がお堂を建立し、観音像は奈良興福寺南円堂より勧請したと言われている。霊験著しく、かつては多くの参拝者があつた。



## 86 龍岡小学校木地分校跡



木地は、蒼社川源流域の森林を生活の場としていた。昭和30年頃は、約40世帯・200人余り住んでいたが、現在は2世帯のみとなっている。

龍岡小学校木地分校は、明治20年に開校、明治40年に一度廃止されている。

その後、林業が盛んとなり、昭和27年に生徒数31人で再開校した。最も生徒数が多かったのは、昭和33・34年の39名だった。昭和43年に生徒数減少とダム建設により龍岡小学校の本校に合流し、その後は九和小学校に統合された。

現在旧校舎は残されている。



## 87 水ヶ峠トンネル



国道317号線の水ヶ峠トンネルは平成9年（1997）に開通。全長2804m。県内では寒風山トンネルに次ぐ長さ。

これにより松山市が飛躍的に近くなった。トンネル入り口には、記念の看板が玉川中学生有志によって立てられている。また、地元のボランティアによって植栽され、よく管理されている。毎年317号線にちなんで3月17日に清掃活動が行われている。